

小松市の空き家対策について

小松市都市創造部建築住宅課

小松市空き家等の適正管理に関する条例 平成25年4月1日施行

条例の概要

- ① 目的:市, 市民, 所有者等の責務を明らかにし, 安全で良好な住環境を確保し, 魅力あるまちづくりを推進する(第1条)
- ② 空き家等の所有者の管理義務(第7条)
- ③ 所有者の空き家等の有効活用への努力義務(第8条)
- ④ 適正に管理されない空き家等への指導・勧告・命令・代執行(第10～15条)
- ⑤ 災害・犯罪防止のための関係機関との連携(第16条)

期待される効果

■ 空き家に人が住むことによって

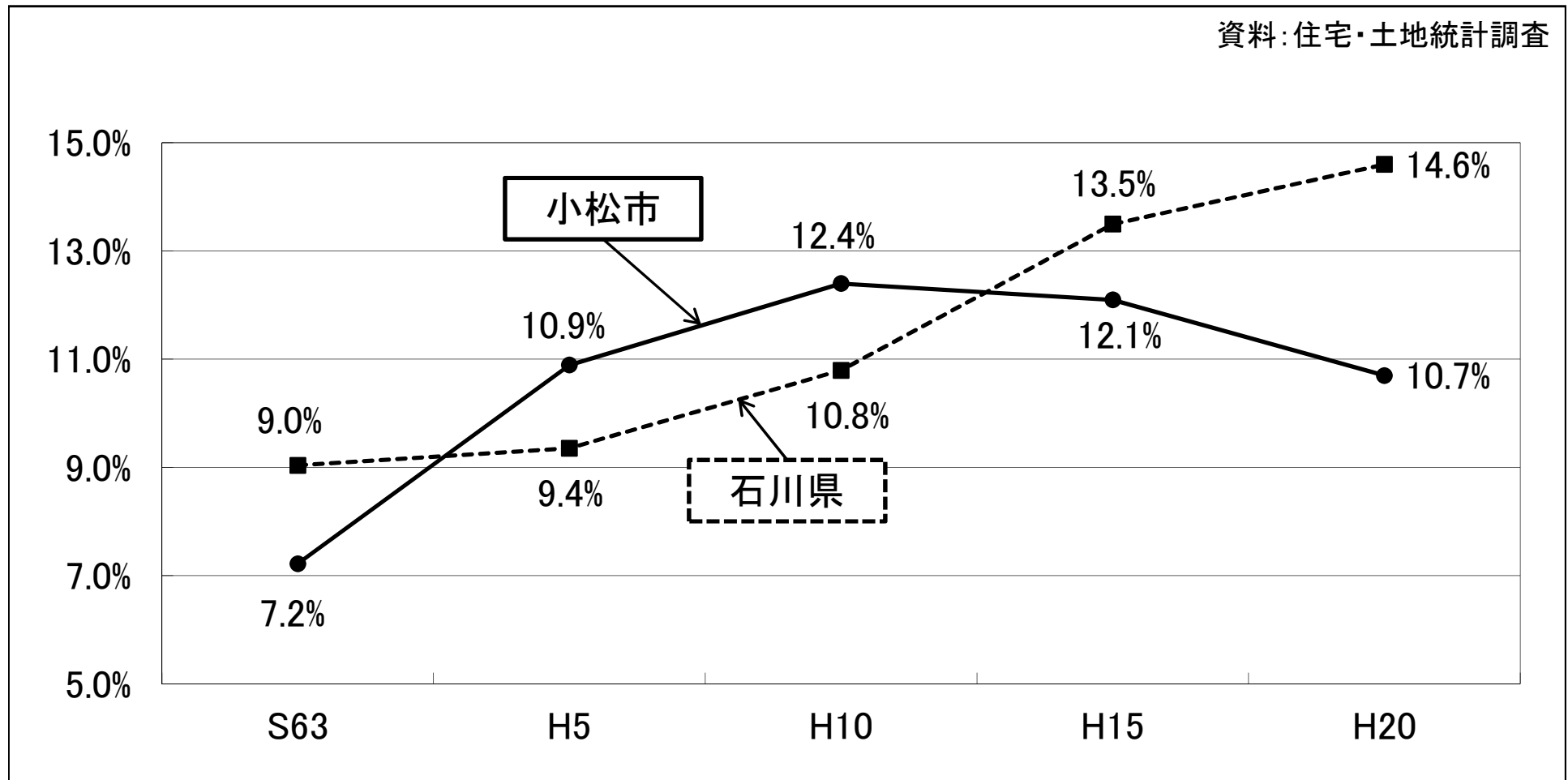
- 地域コミュニティの活性化
- 景観の維持・向上
- 廃屋(老朽危険空き家)化の予防
- 不動産市場の流動化

■ 空き家を適正な管理又は解体することによって

- 周辺住民の老朽危険空き家からの不安・迷惑解消
- 災害・犯罪の未然防止

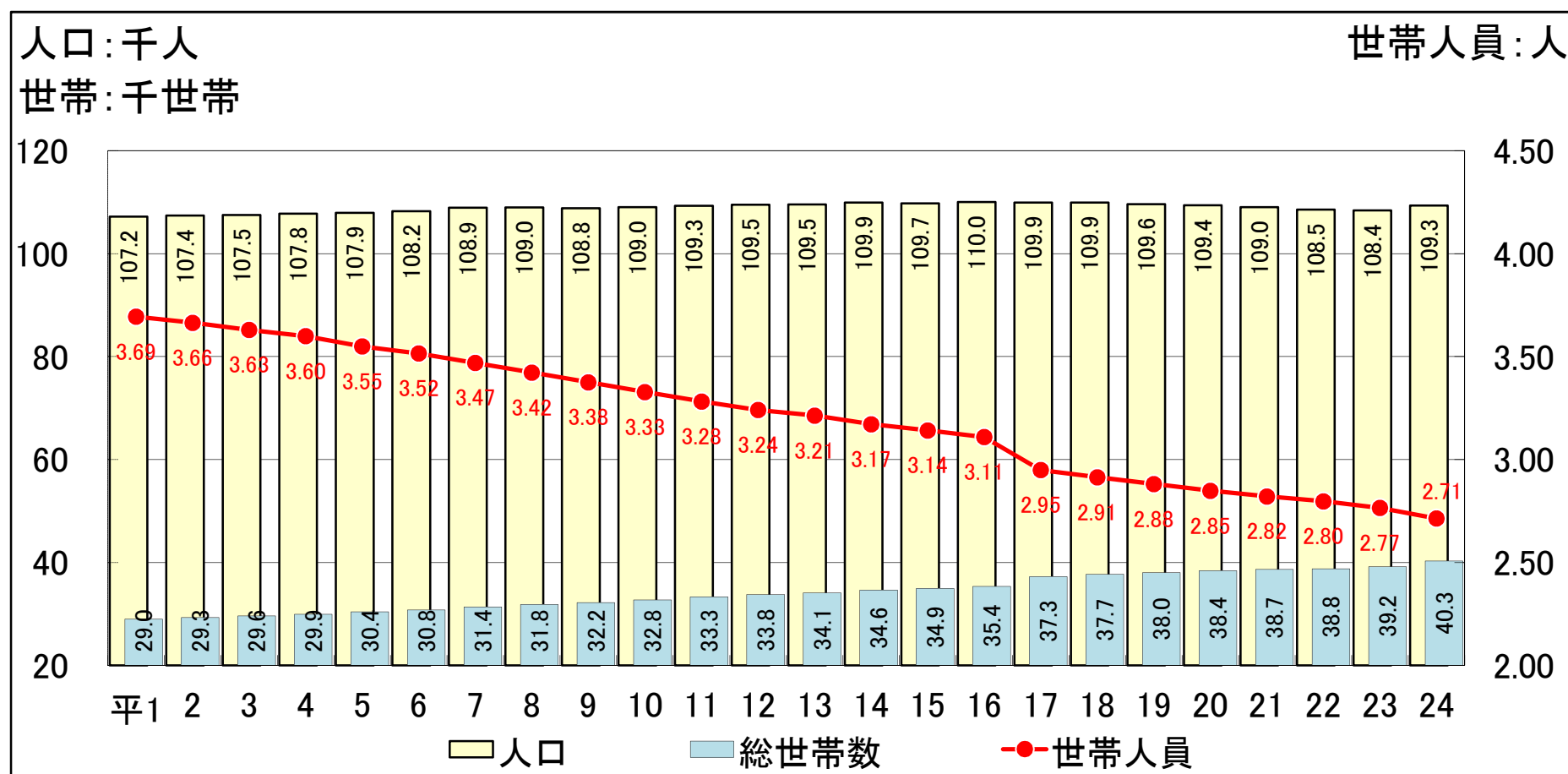
空家率の推移

- ◆平成20年現在の小松市の空家率は11%
- ◆平成10年から減少に転じ、平成15年には石川県全体を下回る
⇒統計上の空家数は減少しているが、実感としては増加傾向



人口・世帯数・世帯人員の推移

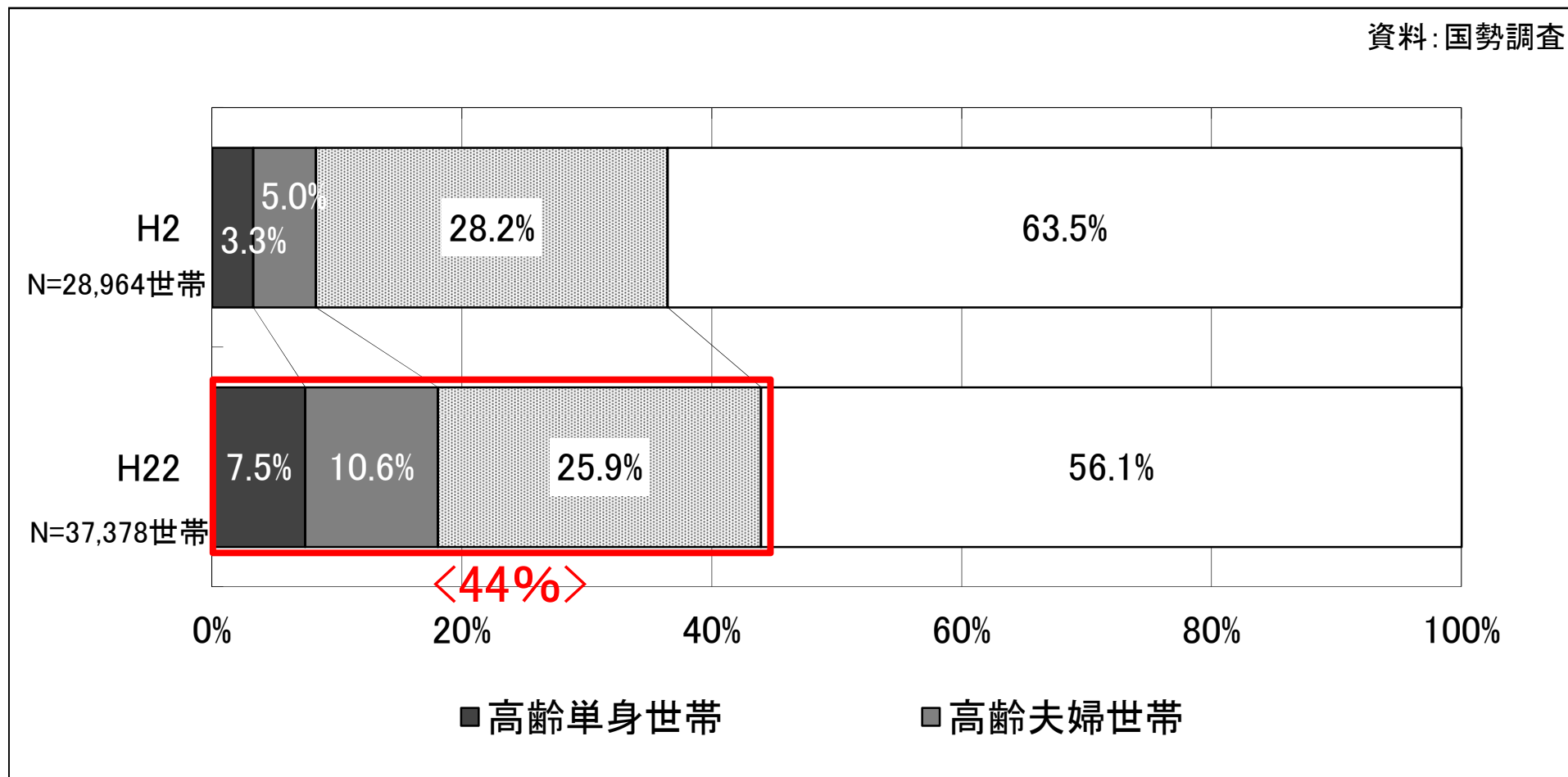
- ◆人口：109,345人、世帯数：40,288世帯、世帯人員 2.71人/世帯
(平成24年12月末日時点)
- ◆平成16年をピークに人口は微減、世帯数は現在も増加傾向



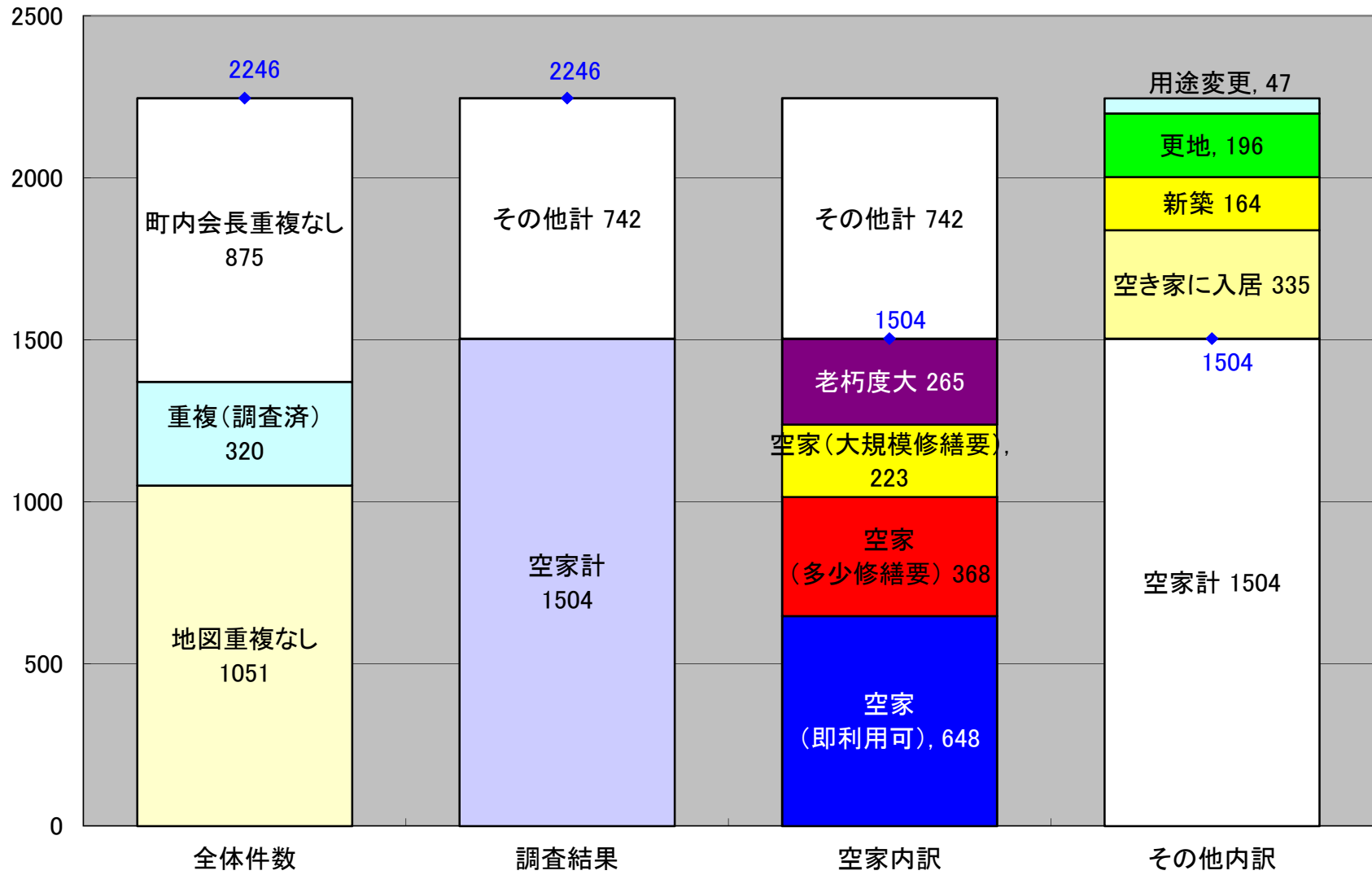
資料：住民基本台帳(各年12月末日時点)

高齢者がいる世帯の推移

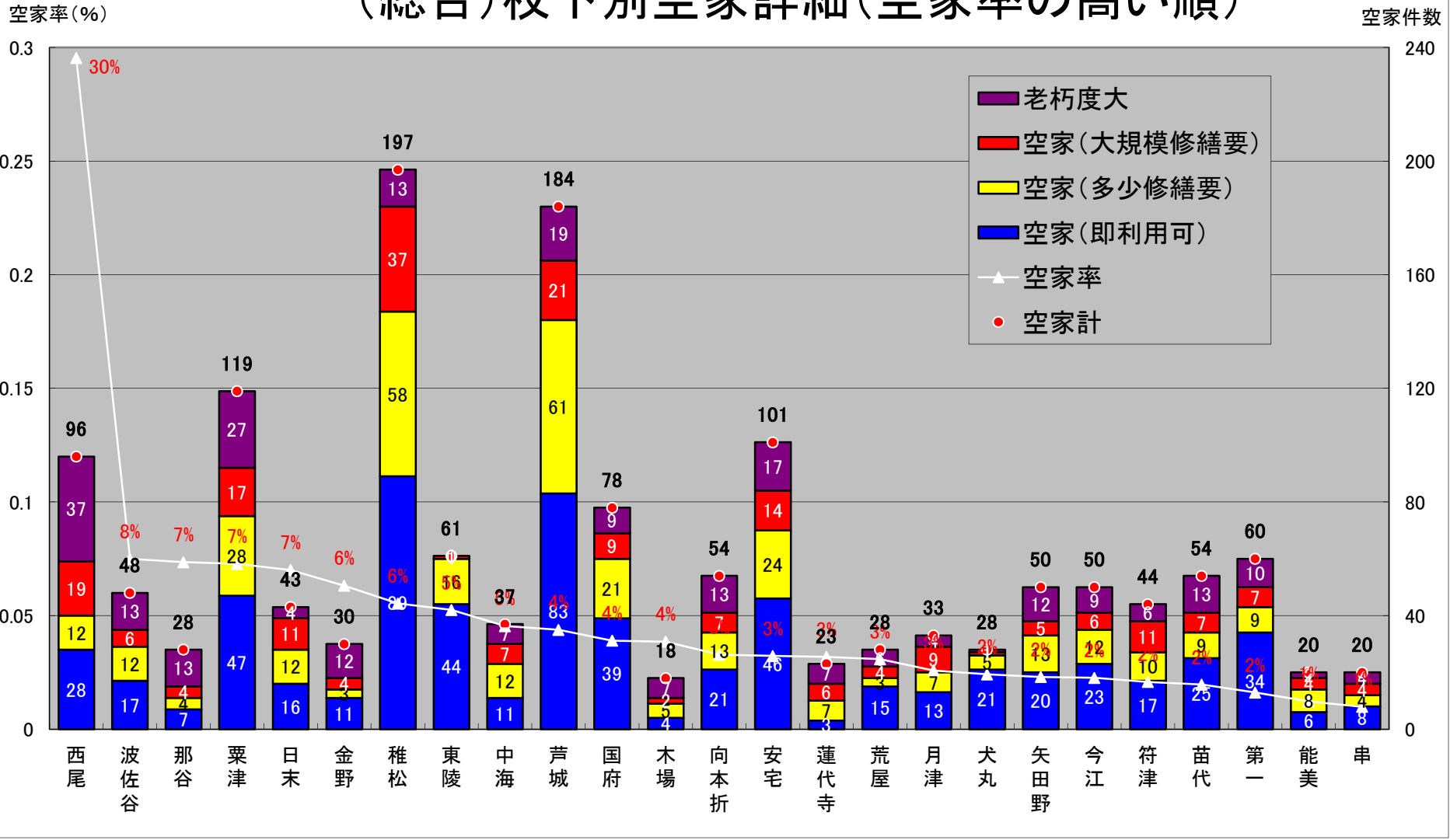
- ◆ 高齢者がいる世帯は全体の44%
- ◆ 高齢単身、高齢夫婦ともに構成比が大きく上昇



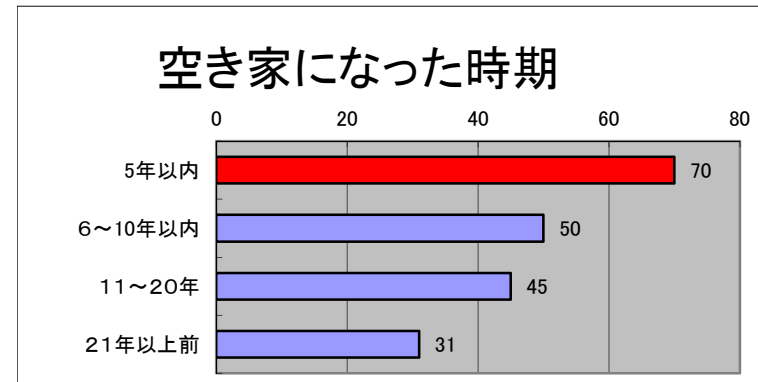
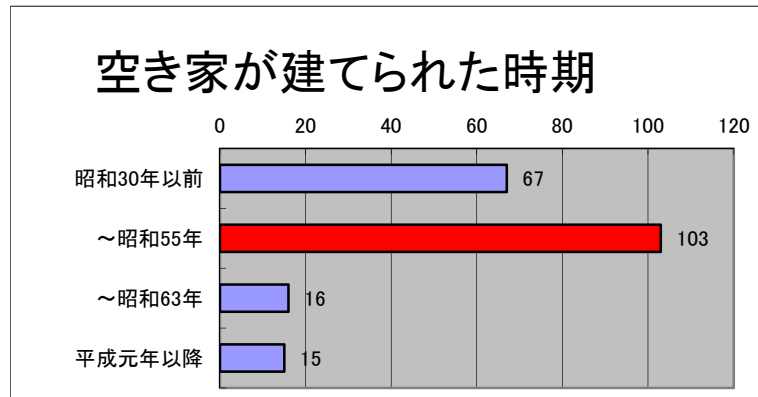
空家調査状況



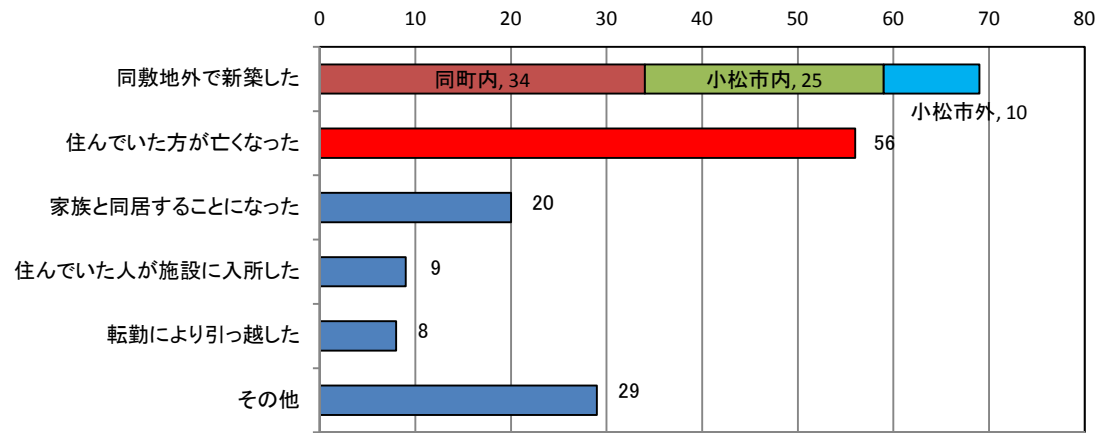
(総合)校下別空家詳細(空家率の高い順)



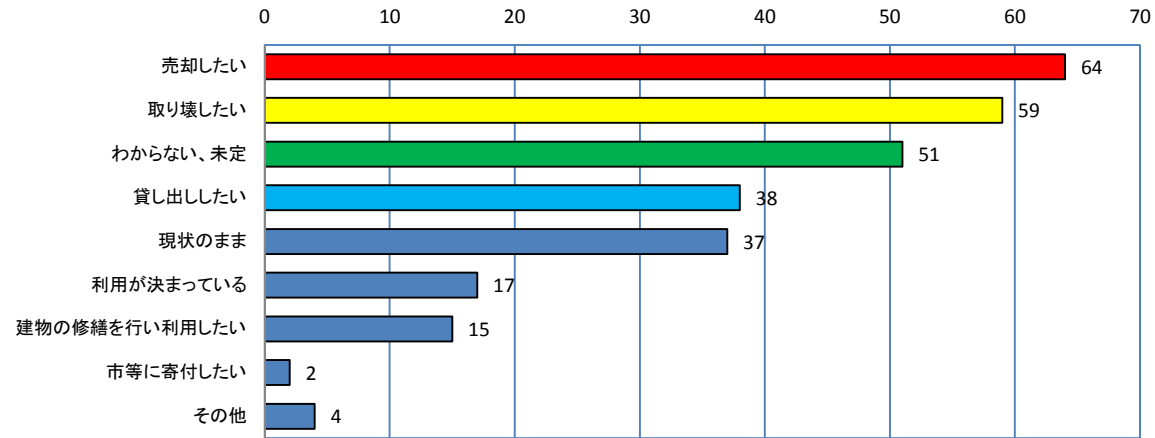
空き家所有者へのアンケート調査



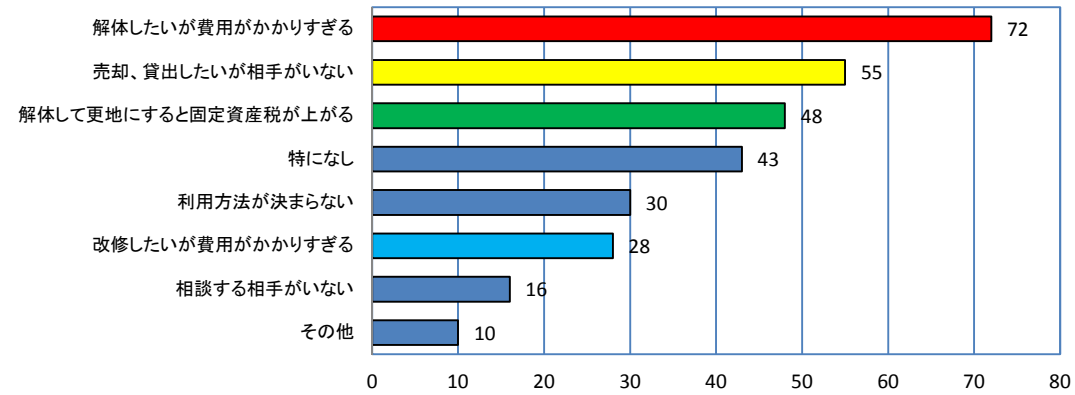
空き家になった理由



空き家の今後の予定



今後の利用方法等困っていること

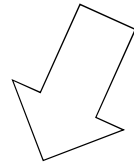


空き家有効活用の助成制度について

小松市内の空き家件数 1,504件 (H25.3空き家調査より)

空き家となっている主な理由

解体したいが費用がかかる
売却、貸出したいが、相手がいない
改修したいが費用がかかる
相談する相手がいない
仏壇、家財が残っている など

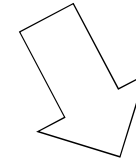


空き家を所有する方に対し

空き家有効活用奨励金 (戸建て住宅のみ)

小松市内の空き家を改修し、賃貸住宅として貸し出す場合、改修費用の一部を助成。

助成額 限度額40万円
改修費用の1/2を助成



空き家を借りる方に対し

空き家有効活用家賃補助金 (戸建て住宅のみ)

小松市内空き家・空き室バンクの登録物件を借りた方に家賃の一部を補助

補助額 限度額2万円/月 家賃の1/2を補助
期間 1年間
対象 45歳以下の方